

緑のセンターだより



No.144

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel：0166-65-5553 Fax：0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 25 年 10 月 1 日



講習会のご案内

（お申込み・受付は前月の 20 日から）

「庭木の冬囲い」（実習） 定員 20 名

とき 平成 25 年 10 月 13 日（日）

午後 1：30～3：30

講師 公園緑地協会 職員



＜連続講座のお知らせ＞講義と実習

第 5 回目 10 月 27 日「かんたん腐葉土作り」

～落ち葉集めと腐葉土作り～

「庭木の冬囲い」（実習） 定員 20 名

とき 平成 25 年 10 月 20 日（日）～常磐公園～

午後 1：30～3：30

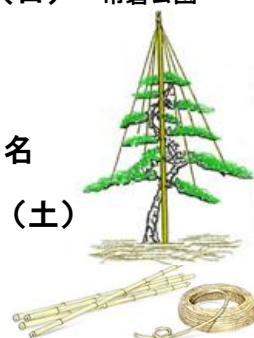
講師 公園緑地協会 職員

「雪吊の基礎」（実習） 定員 20 名

とき 平成 25 年 10 月 26 日（土）

午後 1：30～3：30

講師 公園緑地協会 職員

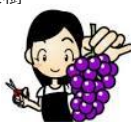


「果樹の剪定と栽培管理」～ブドウほか落葉果樹～

とき 平成 25 年 11 月 1 日（金）

午後 1：30～3：30 定員 50 名

講師 上川農業改良普及センター 松谷 智美さん



「洋ラン！冬から春に向けての育て方」

とき 平成 25 年 11 月 10 日（日）

午後 1：30～3：30 定員 50 名

講師 旭川蘭友会事務局長 稲葉 弘さん

「押し花年賀状を作ろう」（実習）

とき 平成 25 年 11 月 17 日（日）教材費 ¥500

午後 1：30～3：30 定員 20 名

講師 押し花サークルつくしんぼ 加藤迪子さん



「クリスマスからお正月の寄せ植え」（実習）

とき 平成 25 年 12 月 1 日（日）教材費 ¥2000

午後 1：30～3：30 定員 20 名

講師 フラワーマスター 山本 裕美さん

第 29 回「旭川市の公園絵画展」10 月 13 日（日）9 時～12 時「ペットボトルの寄せ植え」先着 20 名様 無料 イオン旭川



展示会のご案内

（初日は午後から、最終日は 4 時まで）

「温室の植物写真展」

10 月 1 日～20 日

道新文化写真スクール

「旭川市の公園絵画展」

11 月 6 日～10 日

旭川市内の小・中学生

「木の実・草の実写真展」

11 月 12 日～12 月 1 日

神田 亘雄さん

桜のトンネルプロジェクト

桜の植樹会

10 月 20 日（日）10 時～12 時

募集数：団体 5 組、個人 20 名

参加料：無料（作業できる服装）

募集期間：9 月 20～10 月 4 日

集合場所：公園河川敷沿い駐車場

【休館日のご案内】

4 月～10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です。（祝日の場合は翌日）

11 月～3 月は毎週月曜日が休館日です。（ ” ” ）

〈園芸の基礎知識〉 家庭園芸の肥料

～ ③ 肥料の種類と性質 ～

肥料の区分は、肥料取締法で米ぬかや堆肥などの「特殊肥料」とそれ以外の「普通肥料」に分けられています。一般的な肥料の種類分け方には、「原料による分類」や「効き方による分類」、「形状による分類」、「成分による分類」などがあります。

【原料による分類】

分 類	原 料 等	性 質
有機質肥料	動物や植物が由来の油かすや骨粉、魚かす、貝殻、鶏ふん、草木灰など	発酵・分解してから徐々に植物に吸収。多少多く与えても障害は出にくい。未熟成分は根に障害。臭気が発生したり虫が集まる。
無機質肥料	リン鉱石や石油、硫酸などから作られ、硫酸、尿素、過リン酸石灰、塩化カリ、硫酸カリなど	臭気も少なく汚れにくい等清潔感がある。表示成分量で管理がしやすい。多すぎると過剰障害がしやすい。

【効き方による分類】

分 類	特 徴	該当する主なタイプ
速効性肥料	与えるとすぐに効果が現れる肥料。効果は長続きしない。	・水溶性化成肥料（硫酸など） ・液体肥料
緩効性肥料	与えたときから効果が現れ、ある程度の期間効果が持続する肥料。	・表面被覆肥料 ・緩効性成分肥料（熔リンなど）
遅効性肥料	与えてから吸収するまで、ある程度の時間がかかり、効果がゆっくり持続する肥料。	・有機質肥料 ・不溶性肥料

（参考資料：住友化学園芸「肥料の基礎知識」、日本放送出版協会「別冊趣味の園芸 栽培上手になる土・肥料・鉢」）

緑の相談 QアンドA (18)

庭にカサブランカ(ユリ)を植えてありますが、5年ぐらい植えたままです。植え替えたいと思います。植え替え時期と方法を教えてください。

地植えのユリは、植えてから3年目ぐらいが花も大きく花数も多いと言われ、それ以降は生育が衰え始めますので今が植え替え時期でしょう。

◎植え替えのポイント◎

《植え場所》 カサブランカは排水の良い、西日の当たらない半日陰を好む。連作は嫌う。

《床づくり》 深さ20～30cm堀上げ、腐葉土(又は完熟たい肥)を土に混合。苦土石灰で弱酸性。

《球根掘上げ》 葉と茎が半分枯れた頃(10月末まで)適期。下根は傷付けない。土を落とし古茎を10cm残し切る。下根を付けて水洗いし枯根を切る。

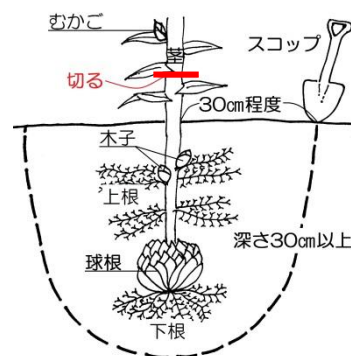
《消毒》 植付け前に殺菌剤(チウラム・チオファネート剤)の指定希釈倍率液に30分浸漬。

《貯蔵》 乾燥を嫌うため通常保存しない。〈一時〉湿ったピートモスで包みポリ袋で冷暗所。

《植付け》 球根3～4個分の深さ。時期〈カサブランカ〉10月頃。

《肥料》 萌芽後に株元に緩効性肥料を少量施肥。花後に化成肥料を少量施肥。

(参考資料：北海道新聞社「北で育てる魅力の花」、日本放送出版協会「NHK 趣味の園芸作業12か月 ユリ」ほか)



植物の病害虫

その１８ 「ウリハムシモドキ」

甲虫目、ハムシ科の昆虫で、マメ科植物（雑草）を好んで繁殖します。今年は各地で野菜や花き類などに被害が見られました。



ウリハムシモドキ成虫(中間型)



ズッキーニの葉の被害

１ 寄生しやすい植物

マメ科植物、ハッカ、アブラナ科植物、ニンジン、レタス、シソなど広範囲に植物を食害します。とくにクローバなどの混播草地や荒廃雑草地に多発し、近隣に移動して加害します。

２ 被害

幼虫は葉を網目状に食害し、植物は黄変枯死します。甚だしい場合は花、稚茎とも一日で食べ尽くされることがあります。成虫は小円形の食痕を作り、幼虫と同様に暴食します。

気温の高い盛夏期の食害が大きく、10月上旬まで加害されます。

３ 生態

年1回の発生です。卵態で地表近くに越冬します。幼虫は5月中旬頃から現れ、クローバなどの柔軟な葉肉を食害して成長します。幼虫期間は30日内外で3回脱皮します。老熟幼虫は6月～7月にかけて地下5cm付近で蛹化し、7月中旬頃から羽化します。成虫は主に地表歩行しますが、盛夏にはしばしば飛翔して秋まで食害を続けます。

本種は一般にマメ科牧草の混播草地または荒廃草地に多発します。成虫はクローバの混在比率が高く、草丈の低い場所に集まります。

成虫の形態は、体長7mm内外、雄は5.7mm内外で長卵形です。翅鞘全体が黄色型や黒色型、翅鞘の前半が黄色で後半は黒色の中間型などのタイプに区分されます。

老熟幼虫の体長は12mm内外、円筒状で頭部は黒色、胴部は暗黄色、背面には各節2個の黒色楕円形のこぶ状突起を縦列し、その両面の合計10個の黒色の円形突起があります。

蛹は体長5.7mm内外、全面に褐色短毛を疎生し、尾端に2本の刺毛があります。

４ 防除法

- (1) 6月後半以降、幼虫の被害を早期に発見し、薬剤散布をします。
- (2) 初発期頃の成虫は移動性が大きいので分散前に防除します。
- (3) 近くにマメ科草地や荒廃雑草地があるところはとくに注意が必要です。

宿根草の株分け・植え替え

宿根草は年数がたつと株が大きくなり、たくさんの茎が密生するために、日当たりは悪く1本ずつの力は弱くなり、花が咲きにくくなります。また、古根がいっぱい新しい根の張る余地がなくなったり、土中の養分が吸い尽くされて育ちが悪くなってきます。株がすっかり衰弱してからでは手遅れですから、その前に株分けして、植え替え作業をしないといけません。

春に咲くアルメリア・ミヤコワスレ等の宿根草は秋に行い、夏や秋に咲くフロックス・キキョウ等の宿根草は春に3～4芽ずつに株分けを行います。

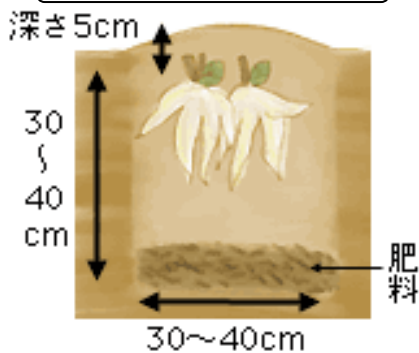
株分けは3～4年おきに、生育の旺盛なものは毎年行いましょう。

シャクヤクの株分け



9月中旬から10月中旬までが、宿根草の植え替えや、移植の適期です。

シャクヤクの植替え



シャクヤクなどの根の太い種類は、早めに植え替えた方が良いでしょう。

株を掘り取る場合は、地際から地上部を切っておきます（ラベンダーやグランドカバータイプの植物など、地上部を残して越冬する種類を除く）。

株より一回り大きく掘り上げると、根の傷みも少なくて済みます。株が大きくて大変な場合は、株の周囲を掘ってから、株の中心部でスコップなどを使って株を割ると作業がしやすくなります。

展示室の植物（51）



エレガンティシマ（別名 モミジバアリア）
ウコギ科ディジゴゼカ属

南太平洋諸島に約15種を有する常緑樹で、その中でも、バヌアツ共和国に自生するものが観葉植物として親しまれています。葉は手を広げたように小葉が6～10枚つき長い軸があります。小葉は光沢のある濃緑色で、縁は粗くギザギザになります。葉の形からモミジバアリアの別名があります。